

R1・H30 学校教育自己診断 否定的評価の上位10位までの比較 【教職員】

「C：あまりあてはまらない」「D：まったくあてはまらない」を合わせた割合を否定的評価として算出

R1				H30			
順位	項目	内容	C+D	順位	項目	内容	C+D
1	14	施設・設備は必要に応じて適切に整備されている。	55.6%	1	14	施設・設備は必要に応じて適切に整備されている。	50.0%
2	7	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	45.8%	2	40	初任者等、経験の少ない教員を学校全体で育成する体制がとれている。	34.5%
3	6	学校運営に、教職員の意見が反映されている。	44.4%	3	11	学校予算は適切に執行され、各教科に必要な備品や教具が配置されている。	32.8%
4	44	研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。	37.5%	4	21	児童・生徒の生活の場として、清潔・安全な教育環境が整備されている。	31.0%
5	43	府教育センター等が主催する研修に計画的に参加する体制が整っている。	34.7%	5	6	学校運営に、教職員の意見が反映されている。	29.3%
6	8	<u>児童・生徒の学びを支援するため、学部間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。</u>	33.3%	5	44	教職員は、積極的にPTA活動に参加している。	29.3%
7	21	児童・生徒の生活の場として、清潔・安全な教育環境が整備されている。	31.9%	7	42	府教育センター等が主催する研修に計画的に参加する体制が整っている。	25.8%
8	11	学校予算は適切に執行され、各教科に必要な備品や教具が配置されている。	31.9%	8	19	教職員間におけるセクハラ、パワハラ等の人権侵害事象が発生しないために啓発等を行っている。	25.8%
9	45	教職員は、積極的にPTA活動に参加している。	26.4%	9	7	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にあ	24.2%
10	19	教職員間におけるセクハラ、パワハラ等の人権侵害事象が発生しないために啓発等を行っている。	25.0%	10	8	<u>各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。</u>	24.1%